

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必
要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



震災ボランティア活動と処遇①

能登半島地震の被災地の一つである石川県七尾市に出向き、災害ボランティアの宿泊拠点となるテント村を現地で視察しました。このテント村は、6年前に水害の被災地となった岡山県総社市が中心になり、NPO法人などと連携し設営したというものでした。総社市の片岡市長みずから動き、滞在型ボランティアの支援を目的にした100張りのテントを持ち込み、その運営にあっているとのことでした。場所は、七尾市の市営城山球場で外野の芝生部分にテントが展開していました。

事前の連絡をしていないことで、運営者(総社市職員、七尾市職員、その他のNPO法人関係者)とは一切折衝をせず、この災害ボランティアの当事者、あるいは近隣の住民と語ったのみでした。この災害ボランティア自身の話として、この日(4月11日)は、20-30人の利用者があったようでした。週末はもっと増えるのかも知れません。この七尾市営野球場は、施設的に水の利用が可能でトイレも使える施設でした。*ただし、私はその場のトイレの利用は無しにしました。



また、隣接して七尾市営城山陸上競技場があり、現在トラックの改装中、震災の影響で6

月まで完成が遅れていました。その施設には温水シャワー設備があり、この災害ボランティアはそれを風呂代わりに使えるそうで、利便性は高いと思われました。

震災ボランティア活動と処遇②

七尾市文化ホール(屋内スポーツ施設と一体になっている模様)が災害ボランティア活動の拠点とされていました。社会福祉協議会がそれを担当していますが、この施設では全国各地の社会福祉協議会から派遣メンバーが災害ボランティアの対応をしていました。災害ボランティアはその建物外の仮設トイレを使い、バケツで水を流す指示が出ていました。



また、災害ボランティアが炊飯や煮炊きができる環境はどこにも見当たらず、いわゆる炊き出し体制は無さそうでした。出入りする災害ボランティアの方に聞くと、食事は、全て買い出しをしており、ボランティア活動に出動する前後に、スーパーやコンビニエンスで買い物をしているとのことでした。

災害ボランティアにとっては、被災者住民との交流が、充足感の一環となるものですが、「官」が手配したものには不足が起きていました。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
夏季休暇期間中の募集開始

Japan IT Week を終日見学

東京ビックサイトの大型 IT 展示会に出向く

Japan IT Week の展示会では、ソフト部門では、RPAと言うものが主役の一つになっていました。ロボットは工場の中で多方面に使われていますが、事務所の中のロボットが働く時代が来た様子が学べました。企業で働く皆さんはご承知でしょうが、ここでいうロボットは、人型のロボットのことでなく、繰り返しの事務作業を自動化すると言っても良いロボット化の話です。広義には事務の効率化と言えましょう。この事務作業の自動化(RPA)は、ロボティック・プロセス・オートメーションのことで、ソフトウェアロボット、または仮想的労働者とされています。まだまだ現実感が起きてきませんが、産業界では徐々に、あるいは急速に、このソフトウェアロボットが普及している姿を、このJapan IT Week においてはいくつもの企業がRPAを手掛け、それぞれにその特徴を述べていました。

私が詳しく見たのは、「アシロボ」というブランド名のディヴオートソリューション株式会社のものや、RoboTANGO というブランド名のスターティホールディング株式会社というもので、それぞれ、「月額5万円のPRA」をうたっており、国産を強調し、「アシロボ」は時給34円と言うものでした。事務職にもロボットが取って変わる現代の産業革命を連想しました。



東御市高地アスリート施設見学

長野県東御市にある、「アスレーツパーク湯の丸」(標高1,735m)を施設見学しました。施設自体は公営ですが、ネット業界大手のGMOがその運営に関わっています。施設の特徴はスポーツの高所練習が年中できる施設で、日本には他に例がなく、従来の高所練習は、これまで海外に出向いて練習をしていたそうです。メインの施設の室内温室プールは公認50mで、深さが均一で2m確保されているのが特徴で、日本水泳連盟の規格を満たしているとのことでした。トレーニングルームも充実しており、野外には400m全天候型トラックと800mのジョギングコースがありました。



食事は、アスリート専用のメニューが揃う「ニッスイアスリート食堂」が整備しており、昼食時間に大勢のアスリートが利用している時間帯に、私たちも事前予約をして、(量の加減ができる)同一メニューを食べました。「女子栄養大学」がこの管理栄養士の部門を担当していました。また、この「アスレーツパーク湯の丸」には、施設利用者用の宿泊施設も充実しており、水泳のオリンピック出場選手も、時期を合わせて多数合宿しているとのことでした。年間を通じて、多数の大学や企業のチームが利用する体制が取られていました。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年4月末までに106名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。